

# 教育センターだより

第445号  
令和3年8月31日発行  
福岡市教育センター  
(授業力向上支援センター)  
TEL 822-2875  
発行者 福田 大二郎  
編集者 石井 洋安

東京2020オリンピックでは、史上最多58個のメダル獲得で、選手から感動と勇気をもらいました。選手の並々ならぬ努力なしでは、なしえない結果であることは当然ですが、それをサポートし続けてきた関係者の継続的な研究・支援、技術力の強化は、私たち教育に携わるものにとっても、とてもいい教訓になりました。

さて、夏休みには、教育センターではたくさんの研修講座を開催し、多くの先生方に、それぞれのニーズに応じた研修を受講していただきました。各学校でも、夏休みでなければできない充実した校内研修が実施されたことと思います。暑かった夏に蓄えた力を、子どもたちのために、是非2学期からの実践に生かしていただきたいと願っています。

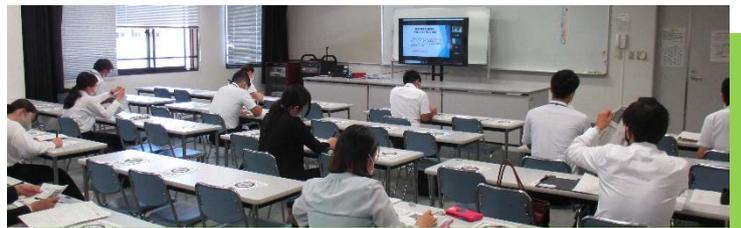
依然として、学校現場では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と教育活動の継続の両立が求められますが、そんな学校現場を少しでも下支えできるよう、教育センターでもICT活用などの研究やその推進に取り組んでいます。



## 初任者研修 | 年次

7月下旬に教育センターで実施した研修講座では、『特別支援教育』『学級経営』『教育相談』の内容を講義・協議・演習形式で実施しました。本年度初めてとなる教育センターでの集合対面研修でしたが、対象者約400名を校種や職種によって日程を分け、感染症防止対策にご協力いただき無事に終えることができました。同期生と共に、真剣に講義に向かう姿勢や活発に協議や演習を行う姿が印象的でした。これまでの実践について共感したり議論したりする場面では、改めて対面研修の良さや意義を再確認できました。

8月の研修講座『初任者のメンタルヘルス』は感染症の状況を鑑み、対面研修からオンライン研修に変更いたしました。ブレイクアウトルームを活用しグループ協議会を実施しました。協議会では、日頃の悩みやストレス解消法等を出し合う様子から、新学期へ臨む意欲や活力を感じられました。各学校でも引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



## 教育センター講演会



8月23日(月)に、令和3年度教育センター講演会が実施されました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し、2年ぶりにオンラインによる開催となりました。

講師に、早稲田大学 人間科学学術院 教授 浅田匡氏をお迎えし、「現代に求められる教師を育てるために必要な教師教育のあり方」を演題としてご講話いただきました。

これからの教師および学校に何が求められるのかを、学習理論にはじまり、「教えることを学び続けること」の大切さ、生涯学習者としての教師を育てるために教師の学び合いが必要であることなど、多くの示唆をいただける内容でした。参加者の皆様からも「若手教員を育てるための良いヒントになりました。」「これからも学びを追求し、資質・能力を向上させるために学び続けなければならないと感じました。」などの感想が寄せられました。



## 全市人権教育研修



7月28日・8月18日・19日に実施しました、今年度の全市人権教育研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインでの開催となりました。

各学校におかれまして、研修の準備、校内研修の実施等、ご協力ありがとうございました。

研修後の感想では、「オンラインでも当事者の方の思いが伝わり、特定職業従事者としての自覚を深めることができた」という内容が多く見られました。

全体研修だけではなく、全体研修後の校内研修も効果的に実施していただいたことも肯定的な評価につながったと思います。

今後も、各学校での人権教育の取組を一層推進していただきますよう、お願いいたします。

